

食を支えて50年以上。
安全と環境に配慮した、
総合物流カンパニー。

Ondō.

ENVIRONMENT,
SAFETY AND
PEACE OF MIND

がんばれ食ビジネス



Interview

株式会社
武蔵野
ロジスティクス

「生活者の幸せ」をあなたとともに実現します。

HOTな、はなし

補助金の申請に関しても、 手厚くサポートしていただきました

補助金の申請にあたっては手続きが煩雑であると感じていたため心配していましたが、フクシマガリレイの担当者さんには提出する資料のチェックなど手厚くサポートしていただきました。今後の設備投資にあたっては補助金の申請は必要になりますし、引き続きお力添えいただけるとありがたいですね。



株式会社武蔵野ロジスティクス
関口 正広さん

対応力や製品バリエーションの充実に期待しています

物流センターの増設などに伴い、今後も冷凍倉庫にCO₂冷媒の設備を選んでいきたいと考えています。フクシマガリレイさんには、設備導入時の仕様変更や不具合が発生した際の対応力や、導入後のアフターフォローに期待しています。今後は製品のバリエーションも豊富になると助かりますね。特に小型のタイプがラインナップに増えると導入も進むと思います。



株式会社武蔵野ホールディングス
佐藤 拓巳さん

COOLな、はなし

チームガリレイで協力しながら

補助金申請のスケジュールに間に合わせるために、短い期間で進行させたプロジェクトであったことが印象的です。

フクシマガリレイとしては今回が初めての「NOBRAC」導入だったので、グループ会社・設計・工事・現地の営業等、チームガリレイで協力し合いながら取り組みました。

施工の際には連絡の行き違いで武蔵野ロジスティクス様に迷惑をおかけしてしまうこともありましたが、現場の皆さんのご協力もあってどうにか工期に間に合わせる事ができました。



フクシマガリレイ株式会社
山森 悠示さん

PRODUCT INTRODUCTION

蓄冷剤用急速凍結庫

コールドチェーンの実現をサポート

蓄冷剤を多く使用する際に便利な凍結庫です。蓄冷剤は、低温輸送時に効果が高く繰り返し使用できるため、低ランニングコストで経済的なことから注目が高まっています。弁当や総菜等の食材配達、セントラルキッチンの低温流通におすすめです。

環境に配慮

従来機種から凍結時間を1時間短縮し、凍結までにかかる消費電力量を10%ダウンさせました。また、急速凍結庫において業界で初めてマイクロチャンネル凝縮器を採用。従来機種に比べて冷媒封入量を大幅に削減し、CO₂換算値で約77%の低減を実現しました。ガス漏れのリスクも減らし、冷媒漏えいによる地球温暖化ゼロを目指します。業界初のR448Aを採用し地球環境に配慮した製品です。
(※急速凍結庫において。2022年7月当社調べ)



今回の訪問先は

株式会社 武蔵野ロジスティクス

主に小売店向けの食品の製造・配送、ホテルの運営などを手掛ける武蔵野グループの配送部門を担っています。首都圏・関西圏を中心に、協力会社と連携しながら全国に配送ネットワークを構築。徹底した安全と品質へのこだわりが、多くの顧客からの信頼の源となっています。



<埼玉物流センター>
〒354-0045
埼玉県入間郡三芳町上富167
TEL:049-258-6851



WEBはこちら

GALILEI
Be cool, Be alive.

フクラボ 業務用冷蔵庫・厨房機器お役立ちサイト
「フクラボ」では業務用冷蔵庫や厨房機器のお手入れ方法・取り扱い方法やトラブル対策、HACCPなどの衛生管理に役立つ情報などご紹介しています。



フクシマガリレイ株式会社

URL <https://www.galilei.co.jp>

本 社 / 関西支社	TEL:06-6477-2011(代)	〒555-0011	大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18
東日本支社(東京浅草橋)	TEL:03-5835-2181(代)	〒111-0052	東京都台東区柳橋2-17-4
東日本支社(東京日本橋)	TEL:03-3663-3051(代)	〒103-0002	東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3 芳文社浅草橋ビル3F
中部支社(名古屋)	TEL:052-559-2940(代)	〒460-0022	愛知県名古屋市中区金山5-13-24
西日本支社(福岡)	TEL:092-474-5881(代)	〒812-0016	福岡県福岡市博多区博多駅南6-2-27



カタログNo.

ER P-166

本カタログの記載内容は2024年7月現在のものです。(2407-05)F



環境保全の一環として、 CO₂冷媒の冷凍冷蔵システムを 物流センターに導入

On Philosophy

安全と品質を大切に、 全国へ食品を届ける物流カンパニー

首都圏・関西圏を中心に、運送業を展開されている武蔵野ロジスティクス様。主に小売店向けの食品の製造・運送を手掛ける武蔵野グループ様の運送部門を担う会社として1967年に創業されました。創業以来、大手コンビニエンスストアやスーパーマーケットのほか、ファストフードチェーン店などの食品配送を一貫して担っています。

特長の一つは、強固な物流ネットワークです。首都圏には3つの物流センターのほか、10ヶ所のセンター・事業所が設けられており、広範囲にわたって安全・確実・丁寧に商品を届けられる体制を構築されています。また、協力会社との連携で全国を対象とした配送も請け負っているほか、商品の保管や仕分けといったサービスも提供することで、顧客の幅広いニーズに対応しています。

「食と物流に携わる会社として私たちが最も大切にしているのは『安全』です。当社に所属している約700名のドライバーには常に法令遵守と安全運転を徹底しています」と、同社管理部の関口正広様。また、徹底した温度管理による品質の保持も、食品を配送する上で欠かせない要素です。「お弁当やおにぎりなど、賞味期限の短い食品を多く取り扱っていることから温度管理には常に細心の注意を払っています。倉庫や車輛などを完備することで、365日24時間体制で鮮度を保った食品をお届けすることができています」(関口様)。

近年では、新型コロナウイルスの影響や独居世帯の増加などにより需要が伸びている冷凍食品の円滑な流通に向け、フローゼンセンターの増設を進めるなど社会の流れにも柔軟に対応。その適応力も、食と物流を手がける企業ならではの強みと言えるでしょう。

On Business

環境への取り組みの一環として CO₂冷媒の冷凍冷蔵システムを導入

食品の製造と配送を手掛ける企業として、武蔵野グループ様全体として重点的に取り組んでいるのが環境保全です。製造、配送など各部門で、環境に配慮した設備を選ぶなどの取り組みが進んでいます。

「例えば食品部門では、新しい工場を設立するにあたって使用電力を削減できるような設備の導入や、環境に配慮した資材を使用するなどの取り組みを行っています。さらに、グループ全体で得られた見識を共有しながら、別部門にも水平展開しています。私たち配送部門では燃費効率に優れた車輛の導入や排気ガス対策、EV(電気自動車)への切り替えを推進しています」(関口様)。

環境保全方針の一環として、武蔵野ロジスティクス様の埼玉物流センターに導入されたのが、CO₂冷媒を使用した冷凍冷蔵システム「NOBRAC」です。それまで冷凍倉庫で使用されていたシステムから更新を検討されるにあたり、グループ会社である武蔵野ホールディングス・エンジニアリング部の佐藤拓巳様が構想を語ってくださいました。

「私たちはグループ全体で食品の製造・配送、あるいはホテルの運営など異なる分野の業態を抱えており、それぞれが抱える問題点をグループの相乗効果で解決していきたいと考えています。環境保全への対策もまさにその一例で、異なる業態同士をつなげる役割を担う私としても、ノンフロン・自然冷媒の設備には以前から関心があり、取り組むべき課題の一つとして捉えていました」。

環境への配慮を重要視する武蔵野グループ全体への波及を見越して、数年前から情報収集を開始。2021年にグループ会社である武蔵野様が群馬県に食品工場を新設するにあたり、ガリレイグループで食品工場の冷蔵冷凍設備一式を導入いただいたことが、大きなきっかけとなりました。

「フクシマガリレイさんにはすでに大きな物件でお力添えいただいた実績があり、また柔軟にご対応いただき納入後もしっかりフォローしていただいたことで信頼感がありました。その後、NOBRACのことはご紹介いただき、私たちも積極的に展開していきたい趣旨の設備であったことから、導入することにしました」(佐藤様)。

「NOBRAC」は、CO₂冷媒を使った環境配慮型の冷凍冷蔵システム。独自の冷却制御システムで運転を最適化するほか、遠隔監視ユニットやCO₂漏れ検知器で運転状態を常に把握できる設計になっています。すでにグループ会社のタカハシガリレイでは導入実績がある一方、フクシマガリレイとしては初の物件であったことから、グループで連携を取りながらプロジェクトを進行させました。

新たな施設への納入とは異なり、稼働中の物流センターでの入れ替え工事であったことから、施工時はさまざまな調整が必要となりました。24時間365日体制の物流センターならではの問題にも直面したそうです。「工事の作業時間や場所がセンターの作業員に伝達できておらず、現場が混乱してしまうこともありましたが、その都度フクシマガリレイの担当者さんと話し合いながら工事を進めることができたので、限られた工期の中でもどうにか納品していただくことができました」と武蔵野ロジスティクスの高橋佳夫サブセンター長。

本プロジェクトは補助金の申請も関わる事情もあったことから、発注から施工まで約8ヶ月と短いものでしたが、予定どおりに完結させることができました。

- 1 …冷凍倉庫の天井に設置された冷却器
2 …CO₂冷媒を使用した冷凍冷蔵システム「NOBRAC」
3 …遠隔監視ユニットAUROで常に機器の状態を管理



Do 社会のトレンドを見据えて より環境に配慮した会社をめざす

「社会の流れを考えると、環境に配慮した設備へ一気に切り替えていくタイミングが近い将来に訪れると思っています。今はそのための準備期間として、少しずつ新たな機器を導入しながら試行錯誤している段階です。トラブルが起きることもあると思いますが、その度に改善していければいいと考えています」と佐藤様。「NOBRAC」の効果による使用電力削減量などの数値も検証しながら、今後につなげていく構想をお持ちでいらっしゃいます。

すでに武蔵野ロジスティクス様では埼玉県内に新たな冷凍倉庫の建設を計画。また、関西圏にも物流センターを設け、自社ネットワークによるエリア拡大も検討されています。

「新設される物流拠点にはできる限りCO₂冷媒を使った機器や設備を導入したいと考えているので、フクシマガリレイさんのお力を借りることがあるかもしれません。補助金の申請にあたっては手厚くサポートしていただきましたし、機器導入後も長い付き合いになるので、アフターフォローの対応力なども含めて寄せる期待は大きいです」。(佐藤様)

「食と癒しで人々を幸せに」を社是とする武蔵野グループ様において、物流という重要な部門を担う武蔵野ロジスティクス様。より環境に配慮したスタンスのもと、食と物流で人々の暮らしに貢献する会社としてご活躍の場を広げていかれることでしょう。